PLESK

公式スタートアップガイド

Official Start Up Guide for PLESK

Plesk is comprehensive server management software developed specifically for the Hosting Service Industry with the assistance of Web hosting professionals. Time tested tough in real world hosting environments this award winning “control panel” software has proven itself for years to be simply the best.

CONTENTS

目次

P.2 **第１章 導入ガイド**

2：管理画面へのアクセス

P.4 **第２章 スタートアップガイド【クライアント】**

5：クライアントの管理方法

P.9 **第３章 スタートアップガイド【ドメイン】**

10：ドメイン管理方法
16：ドメインユーザの管理方法
19：FTP アカウントの編集方法
21：バックアップの利用方法

P.30 **第４章 スタートアップガイド【ドメイン内のユーザ管理】**

31：Web ユーザの管理方法
37：サブドメインの管理方法
43：メールユーザの管理方法

P.50 **第５章 サーバ管理**

51：メールサーバ設定
52：IP エイリアスの管理
53：サービス管理方法
54：管理者情報の編集方法
55：SSH の開始・停止・制限を行う手順

P.57 **付録**

57：CGI の実行に関する注意事項
58：メールソフトの設定
60：FTP クライアントの設定

※当冊子内で使われている画面キャプチャーはお客さまの環境によって異なる場合がございます。

第１章

導入ガイド

Introduction

CONTENT

管理画面へのアクセス

P.2

2：管理画面へのアクセス方法
3：ログインできるユーザの種類

Step1 管理画面へのアクセス

Plesk 管理画面へのアクセス方法についてご説明します。
また、PLESK でログインできる各ユーザ（admin、クライアント、ドメインユーザ、メールユーザ）についてもご説明します。

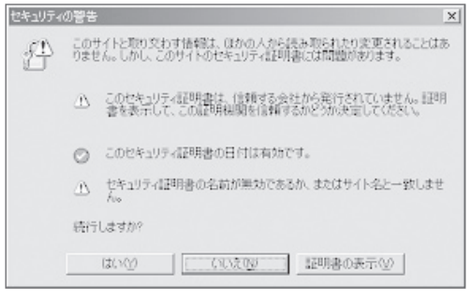
1）管理画面へのアクセス方法

Plesk 管理画面へは、お客さまがご使用のブラウザ (Internet Explorer 等) からアクセスを行います。

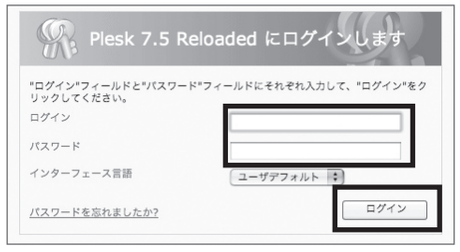
❶ ブラウザのアドレスバーに以下のように記述して Enter を押下します。

https:// お客さまの IP アドレス :8443
　または
https:// お客さまのドメイン名 :8443

❷ 以下のセキュリティ警告のポップアップが表示されますので、「はい」をクリックします。



❸ 以下の画面が表示されますので、ログインボックスにお客さまのログイン名、パスワードボックスにお客さまのパスワードを入力し、「ログイン」をクリックしてください。管理画面が開きます。



2）ログインできるユーザの種類

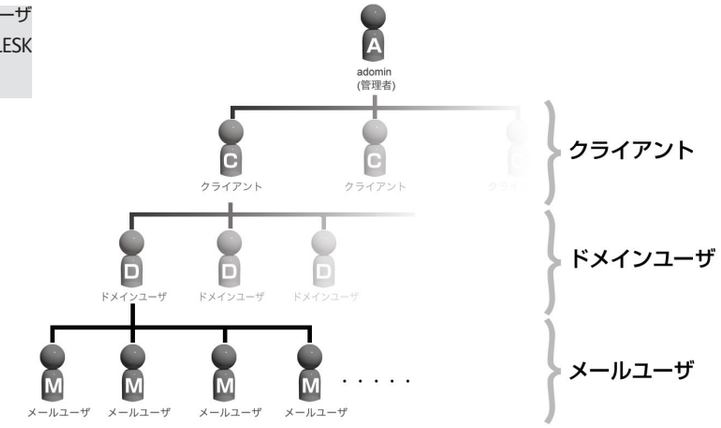
ログインできるユーザの種類に関しましては、以下の４種類となります。

【ユーザの種類】

admin(管理者)	サーバの管理の全ての操作が可能なアカウントです。 パスワードは、お申し込み頂いたプライベートサーバーの設定完了時に連絡させて頂きました下記件名のメールに記載されているものを使用します。 [件名 : プライベート・サーバー設定完了のお知らせ : お客さまのドメイン名] 例) ログイン :admin
クライアント	ドメインの新規追加や設定管理の操作が可能なアカウントです。サーバのシステムに関する操作は制限されます。 パスワードは、ご指定のクライアントユーザを追加された際に設定されたものを使用します。 例) ログイン :sample
ドメインユーザ	主に特定のドメインの設定管理の操作が可能なアカウントです。 パスワードは、ご指定のドメインユーザを追加された際に設定されたものを使用します。 例) ログイン :sample-domain.com
メールユーザ	主に特定のドメインの特定のメールアカウントを利用可能なアカウントです。 パスワードは、ご指定のメールアカウントを追加された際に設定されたものを使用します。 例) ログイン :sample_mail@sample-domain.com

【各権限間の構造】

クライアント・ドメイン・メールユーザの作成可能な数はご契約された PLESK のライセンス数によります。



【機能一覧】

	クライアントの作成	クライアントの編集	クライアントの削除	ドメインの作成	ドメインの編集	ドメインの削除	ドメインユーザの作成	ドメインユーザの編集
admin(管理者)	○	○	○	○	○	○	○	○
クライアント	—	△	—	△	△	△	△	△
ドメインユーザ	—	—	—	—	△	—	—	△
メールユーザ	—	—	—	—	—	—	—	—

	FTP ユーザの作成	FTP ユーザの編集	Web ユーザの作成	Web ユーザの編集	Web ユーザの削除	メールユーザの作成	メールユーザの編集	メールユーザの削除
admin(管理者)	○	○	○	○	○	○	○	○
クライアント	△	△	△	△	○	○	○	○
ドメインユーザ	△	△	△	△	○	○	○	○
メールユーザ	—	—	—	—	—	—	△	—

○：制限無く操作できます
△：操作できますが、パーミッションの設定により制限が掛かる場合があります
—：操作できません

第２章

スタートアップガイド【クライアント】

Start Up Guide [Client]

クライアントとは、ドメインやドメイン配下の各種アカウントの操作が可能なアカウントです。管理者はクライアントに対して収容ドメイン数の制限・ディスク割当容量の制限をかけることが可能です。クライアントは割当てられたドメイン数・ディスク容量の中で複数のドメイン管理が可能です。

CONTENT

クライアントの管理方法

P.5

5：クライアントの作成方法
6：クライアントの編集方法
7：クライアントパーミッションの編集方法
8：クライアントの削除方法

Step2 クライアントの管理方法

クライアントとは、ドメインやドメイン配下の各種アカウントの操作が可能なアカウントです。ただしサーバのシステム設定などの操作をすることはできません。また、パーミッション設定によっては、ドメイン配下の一部の操作を行えない場合もあります。全ての操作を行いたい場合はサーバの管理者にお問い合わせください。

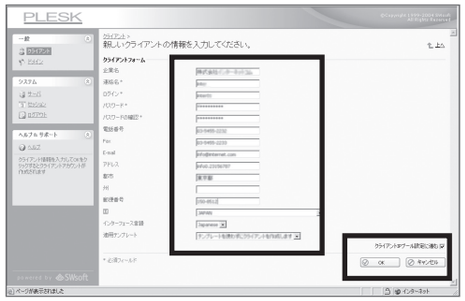
1) クライアントの作成方法

まずはクライアントを作成します。
新しいクライアントアカウントを作成するには、次のステップで行ってください。

❶ admin(管理者アカウント) でログインし、一般の「クライアント」をクリックします。

❷ クライアント管理の画面が開きますので、ツールの「新しいクライアントアカウント」をクリックします。

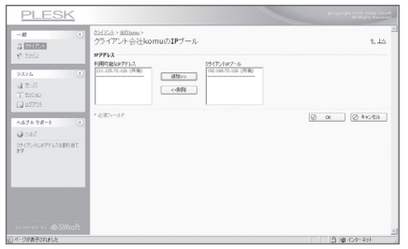
❸ 新しいクライアントの情報を入力する画面が開きますので、必要項目を入力して「OK」をクリックします。



・「*」の付いている項目は必須項目ですので、空欄にしないで下さい。

連絡名	クライアント一覧に表示される名称になります。
ログイン	このクライアントで管理画面にログインする際のログインアカウントになります。
パスワード	このクライアントで管理画面にログインする際のパスワードになります。

❹ IP アドレスを割り振る画面が開きますので、利用可能な IP アドレスのボックスより追加したい IP アドレスをクリックし、「追加」をクリックします。クライアント IP プールボックスに IP アドレスが追加されたのを確認し、「OK」をクリックします。クライアントが作成され、作成したクライアントの管理画面が開きます。



・通常は、お申し込み頂いたプライベートサーバーの設定完了時に連絡させて頂きました設定完了通知に記載されている「グローバル IP アドレス」を使用します。

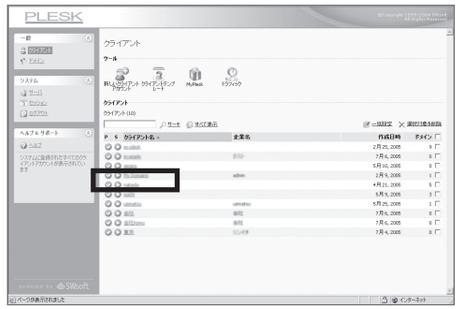
2) クライアントの編集方法

クライアントの編集は、管理者または該当のクライアントユーザが行えます。
クライアントの編集を行うには、次のステップで行ってください。

管理者の場合

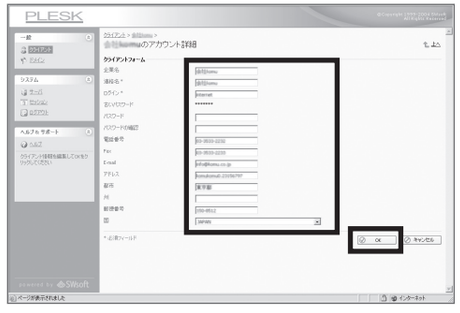
❶ admin(管理者アカウント) でログインし、一般の「クライアント」をクリックします。

❷ クライアントの画面が開きますので、編集したいクライアント名をクリックします。



❸ 選択したクライアントの画面が開きますので、ツールの「編集」をクリックします。

❹ 選択したクライアントの画面が開きますので、ツールの「編集」をクリックします。



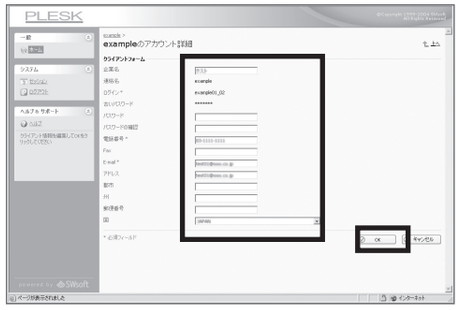
・「*」の付いている項目は必須項目ですので、空欄にしないでください。
・セキュリティー向上の為、定期的にパスワードを変更されることをお奨めいたします。

クライアントの場合

❶ クライアントアカウントでログインし、一般の「ホーム」をクリックします。

❷ クライアントのホーム画面が開きますので、ツールの「編集」をクリックします。

❸ クライアントのアカウント詳細の画面が開きますので、変更したい項目を編集し、「OK」をクリックします。内容が変更され、クライアントのホーム画面に戻ります。



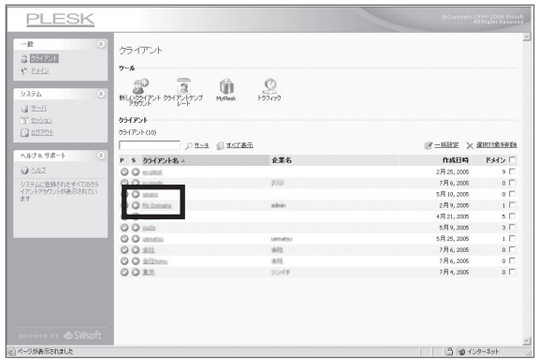
・「*」の付いている項目は必須項目ですので、空欄にしないでください。
・セキュリティー向上の為、定期的にパスワードを変更されることをお奨めいたします。

3) クライアントのパーミッションの編集方法

クライアントのパーミッションの編集は、管理者が行えます。
クライアントのパーミッションの編集を行うには、次のステップで行ってください。

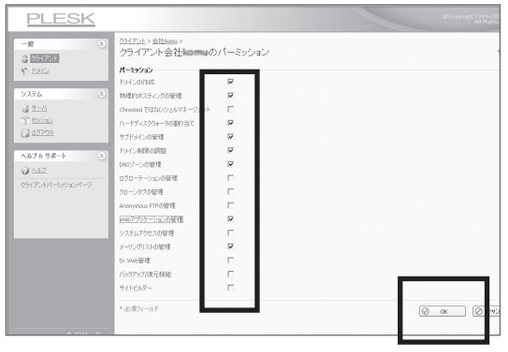
❶ admin(管理者アカウント) でログインし、一般の「クライアント」をクリックします。

❷ クライアントの画面が開きますので、編集したいクライアント名をクリックします。



❸ 選択したクライアントの画面が開きますので、ツールの「パーミッション」をクリックします。

❹ 選択したクライアントのパーミッションの画面が開きますので、許可したい項目をチェックし、「OK」をクリックします。内容が変更され、選択したクライアントの管理画面に戻ります。



ドメインの作成	ドメインを作成する権限を与える場合にチェックします。
ハードディスククォータの割り当て	作成したドメインで使用可能なディスク容量を設定する権限を与える場合にチェックします。
サブドメインの管理	サブドメインを管理する権限を与える場合にチェックします。
ドメイン制限の調整	ドメインの制限の設定を調整する権限を与える場合にチェックします。
Anonymous FTP の管理	アカウントとパスワードを使用することなく FTP サイトを利用できるようにする権限を与える場合にチェックします。
システムアクセスの管理	システムへのアクセスをする権限を与える場合にチェックします。
メーリングリストの管理	メーリングリストの管理をする権限を与える場合にチェックします。

４）クライアントの削除方法

クライアントを削除されますと、そのクライアント配下のドメイン、ドメインユーザ、サブドメイン、Web ユーザ、メールユーザなども削除されます。

❶ admin(管理者アカウント) でログインし、一般の「クライアント」をクリックします。

❷ クライアント管理の画面が開きますので、削除したいクライアントのチェックボックスをクリックし、「選択対象を削除」をクリックします。

❸ 削除設定の画面が開きますので、「削除の確認」をチェックし「OK」をクリックします。選択したクライアントが削除され、クライアント管理の画面に戻ります。

第３章

スタートアップガイド【ドメイン】

Start Up Guide [Domain]

PLESK では 1 台のサーバに複数のドメインを収容することが可能です。ドメインはクライアントに割当てられますが、割当てたドメイン内の設定はドメインの管理者が変更することが可能です。

CONTENT

ドメインの管理方法

P.10
10：ドメインの作成方法
13：ドメインの編集方法
15：ドメインの削除方法

ドメインユーザの管理方法

P.16
16：ドメインユーザの作成方法
17：ドメインユーザの編集方法

FTP アカウントの編集方法

P.19
19：FTP アカウントの編集方法

バックアップの利用方法

P.21
21：バックアップをするには
22：バックアップファイルをダウンロードするには
23：バックアップファイルからデータを復元するには
24：ダウンロードしたバックアップファイルから復元するには
25：バックアップファイルを他のサーバに保存するには
27：他のサーバに保存したバックアップファイルから復元するには
28：定期的にバックアップを行うには

Step3 ドメインの管理方法

この章では顧客のためにドメインを管理する際などに使用する管理的なタスクについて説明します。どのようにして新しいドメイン名を作成するか、必要な制限をどう設定するか、ホスティング、メールその他のサービスをどう設定するかについて説明します。

1) ドメインの作成方法

ドメインの作成は、管理者または該当のクライアントユーザが行えます。ただしクライアントに関しては、パーミッションの設定により作成する権限が無い場合もあります。
クライアントでログイン時にドメインを作成したい場合は、サーバ管理者にお問い合わせください。

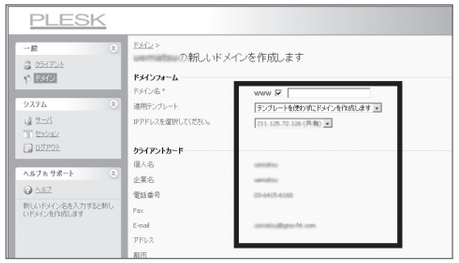
管理者の場合

❶ admin(管理者アカウント) でログインし、一般の「クライアント」をクリックします。

❷ ドメイン管理画面が開きますので、ツールの「新規ドメインを追加」をクリックします。

❸ クライアントの一覧が表示されますので、ドメインを作成するクライアントをクリックします。

❹ ドメインの作成画面が開きますので、必要項目を入力して「OK」をクリックします。



・「*」の付いている項目は必須項目ですので、空欄にしないでください。

ドメイン名	新規に作成されるドメインの名前になります。
IP アドレスの選択	ご使用可能な IP アドレスから使用したいものを選択します。
ホスティング設定に進む	ホスティングのタイプの選択する場合にチェックをします。チェックをしなかった場合は、以下の手順が省略されます。ホスティング設定はあとから行うことも可能です。

❺ ドメインのホスティングタイプを選択する画面が開きますので、ご希望のタイプをチェックし「OK」をクリックします。

・「*」の付いている項目は必須項目ですので、空欄にしないでください。

物理的ホスティング	ドメインのバーチャルホストを作成する場合に選択してください。
標準転送	Web ブラウザを介してドメインにアクセスする時に、別のドメインに転送する場合に選択してください。 ※ドメインにアクセスすると、このアドレスにリダイレクトされます。URL が変わったことは、ブラウザを見れば分かります。
フレーム転送	宛て先 URL がソースとなるシングルフレームを作成する場合に選択してください。 ※ドメインにアクセスすると、このアドレスにリダイレクトされます。URL が変わったことは、ブラウザを見ても分かりません。

❻ 追加したドメインの物理的ホスティング設定ページが開きますので、必要項目を入力後「OK」をクリックします。ドメインが追加され、追加されたドメインの画面が開きます。

・「*」の付いている項目は必須項目ですので、空欄にしないでください。
・FTP パスワードは必須項目ですので、空欄にしないでください。

SSL 対応	SSL を利用すると、Web の通信が暗号化されます。SSL を有効にしたい場合にチェックをします。
FTP ログイン	ドメインコンテンツのアップロード用 FTP ユーザになります。
FTP パスワード	FTP アカウントのパスワードを設定します。 ※パスワードは必ず設定してください。
ハードディスククォータ	www 領域のディスク使用量を制限します。
システムアクセス	システムへのアクセスの制限を設定します。信頼できるユーザだけに許可をすることをお奨めいたします。
ApacheASP 対応	ApacheASP を利用すると、動的に Web ページを生成することができます。ApacheASP を利用されたい場合にチェックします。
SSI 対応	SSI を利用すると Web 文書中に記述したプログラムを Web サーバに処理させ、その結果を Web 文書中に埋め込んでクライアントに送信することができます。アクセスカウンタなどによく利用されます。 拡張子は「.shtml」です。
PHP 対応	PHP を利用すると、動的に Web ページを生成することができます。PHP を利用されたい場合にチェックします。
CGI 対応	CGI を利用すると、Web サーバにユーザのリクエストに応じて別のプログラムを呼び出させ、そのプログラムにユーザへの応答をさせることができます。 /cgi-bin 以下に CGI を設置してください。

クライアントの場合

❶ 該当のクライアントでログインし、一般の「ホーム」をクリックします。

❷ ツールの「新規ドメインを追加」をクリックします。このアイコンがグレーになっている場合は、パーミッションの設定によりドメインを作成する権限がありません。
作成したい場合はサーバの管理者にお問い合わせください。

❸ クライアントのアカウント詳細の画面が開きますので、変更したい項目を編集し、「OK」をクリックします。内容が変更され、クライアントのホーム画面に戻ります。

・「*」の付いている項目は必須項目ですので、空欄にしないでください。

ドメイン名	新規に作成されるドメインの名前になります。
IP アドレスの選択	ご使用可能な IP アドレスから使用したいものを選択します。
ホスティング設定に進む	ホスティングのタイプの選択する場合にチェックをします。チェックをしなかった場合は、以下の手順が省略されます。ホスティング設定はあとから行うことも可能です。

>>次のページに続く

❹ドメインのホスティングタイプを選択する画面が開きますので、ご希望のタイプをチェックし「OK」をクリックします。

・「*」の付いている項目は必須項目ですので、空欄にしないでください。

物理的ホスティング	ドメインのバーチャルホストを作成する場合に選択してください。
標準転送	Web ブラウザを介してドメインにアクセスする時に、別のドメインに転送する場合に選択してください。 ※ドメインにアクセスすると、このアドレスにリダイレクトされます。URL が変わったことは、ブラウザを見れば分かります。
フレーム転送	宛て先 URL がソースとなるシングルフレームを作成する場合に選択してください。 ※ドメインにアクセスすると、このアドレスにリダイレクトされます。URL が変わったことは、ブラウザを見ても分かりません。

❺追加したドメインの物理的ホスティング設定ページが開きますので、必要項目を入力後「OK」をクリックします。ドメインが追加され、追加されたドメインの画面が開きます。

・「*」の付いている項目は必須項目ですので、空欄にしないでください。
・FTP パスワードは必須項目ですので、空欄にしないでください。

SSL 対応	SSL を利用すると、Web の通信が暗号化されます。SSL を有効にしたい場合にチェックをします。
FTP ログイン	ドメインコンテンツのアップロード用 FTP ユーザになります。
FTP パスワード	FTP アカウントのパスワードを設定します。 ※パスワードは必ず設定してください。
ハードディスククォータ	www 領域のディスク使用量を制限します。
システムアクセス	システムへのアクセスの制限を設定します。信頼できるユーザだけに許可をすることをお奨めいたします。
ApacheASP 対応	ApacheASP を利用すると、動的に Web ページを生成することができます。ApacheASP を利用されたい場合にチェックします。
SSI 対応	SSI を利用すると Web 文書中に記述したプログラムを Web サーバに処理させ、その結果を Web 文書中に埋め込んでクライアントに送信することができます。アクセスカウンタなどによく利用されます。 拡張子は「.shtml」です。
PHP 対応	PHP を利用すると、動的に Web ページを生成することができます。PHP を利用されたい場合にチェックします。
CGI 対応	CGI を利用すると、Web サーバにユーザのリクエストに応じて別のプログラムを呼び出させ、そのプログラムにユーザへの応答をさせることができます。 /cgi-bin 以下に CGI を設置してください。 htdocs 内で CGI を実行したい場合は、.htaccess ファイルを以下の内容で置いていただくと可能です。 ・AddHandler　cgi-script　.cgi ※ .htaccess の詳細はサポートしておりませんので参考書籍等でご確認ください。

２）ドメインの編集方法（物理的ホスティングの設定の編集）

ドメインの編集は、管理者または該当のクライアントユーザまたは該当のドメインユーザが行えます。ただしクライアント及びドメインユーザに関しては、パーミッションの設定により一部の項目を編集できない場合があります。クライアントユーザまたはドメインユーザでログイン時に全てを編集したい場合は、サーバの管理者にお問い合わせください。

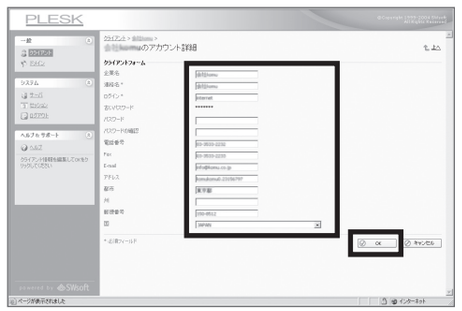
管理者の場合

❶admin（管理者アカウント）でログインし、一般の「クライアント」をクリックします。

❷クライアントの画面が開きますので、編集したいクライアント名をクリックします。

❸選択したクライアントの画面が開きますので、ツールの「編集」をクリックします。

❹選択したクライアントの画面が開きますので、ツールの「編集」をクリックします。



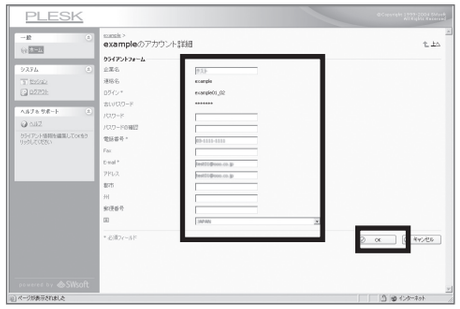
・「*」の付いている項目は必須項目ですので、空欄にしないでください。
・セキュリティ向上の為、定期的にパスワードを変更されることをお奨めいたします。

クライアントの場合

❶クライアントアカウントでログインし、一般の「ホーム」をクリックします。

❷クライアントのホーム画面が開きますので、ツールの「編集」をクリックします。

❸クライアントのアカウント詳細の画面が開きますので、変更したい項目を編集し、「OK」をクリックします。内容が変更され、クライアントのホーム画面に戻ります。



・「*」の付いている項目は必須項目ですので、空欄にしないでください。
・セキュリティ向上の為、定期的にパスワードを変更されることをお奨めいたします。

ドメインユーザの場合

❶ 該当のドメインユーザでログインし、一般の「ホーム」をクリックします。

❷ ホスティングの「設定」をクリックします。

❸ ドメインの物理的ホスティング設定ページが開きますので、変更したい項目を編集し「OK」をクリックします。内容が変更され、ホームの画面に戻ります。

パーミッションの設定により、一部の項目が編集できない場合があります。全ての項目を編集したいい場合は、サーバ管理者にお問い合わせください。

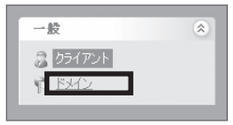
・「*」の付いている項目は必須項目ですので、空欄にしないでください。

３）ドメインの削除方法

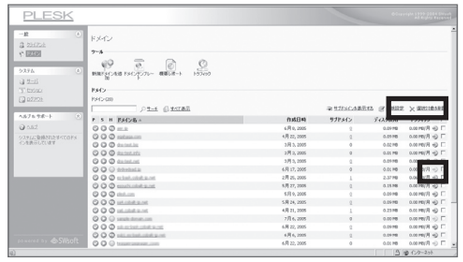
ドメインの削除は、管理者または該当のクライアントユーザが行えます。ただしクライアントに関しては、パーミッションの設定により削除する権限が無い場合もあります。クライアントでログイン時にドメインを削除したい場合は、サーバ管理者にお問い合わせください。ドメインを削除されますと、そのドメイン配下のドメインユーザ、サブドメイン、Web ユーザ、メールユーザおよびデータなども削除されます。

管理者の場合

❶ admin(管理者パスワード) でログインし、一般の「ドメイン」をクリックします。



❷ ドメイン管理画面が開きますので、削除したいドメイン名のチェックボックスをクリックし、「選択対象を削除」をクリックします。



❸ 削除設定の画面が開きますので、削除の確認にチェックし「OK」をクリックします。選択したドメインが削除され、ドメイン管理の画面に戻ります。

クライアントの場合

❶ 該当のドメインのクライアントでログインし、一般の「ホーム」をクリックします。

❷ 削除したいドメイン名のチェックボックスをクリックし、「選択対象を削除」をクリックします。

「パーミッションがありません」と表示される場合は、パーミッションの設定によりドメインを削除する権限がありません。削除したい場合はサーバの管理者にお問い合わせください。

❸ 削除設定の画面が開きますので、削除の確認にチェックし「OK」をクリックします。選択したドメインが削除され、ホームの画面に戻ります。

Step4 ドメインユーザの管理方法

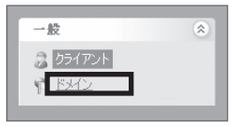
ドメインユーザはドメインの管理操作ができます。
パスワードは [ドメインユーザ] より、設定する事ができます。

1) ドメインユーザの作成方法

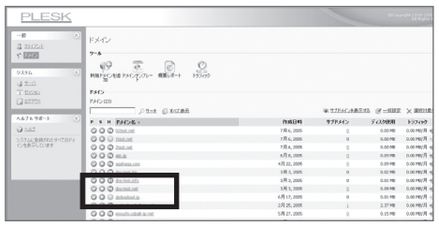
ドメインユーザの作成は、管理者または該当のクライアントユーザが行えます。ただしクライアントに関してはパーミッションの設定により、一部の項目が設定できない場合があります。全ての項目を設定したい場合は、サーバ管理者にお問い合わせください。

管理者の場合

❶ admin(管理者アカウント) でログインし、一般の「ドメイン」をクリックします。



❷ ドメイン管理画面が開きますので、ドメインユーザを作成したいドメイン名をクリックします。



❸ 選択したドメインの管理画面が開きますので、ドメインの「ドメインユーザ」をクリックします。

❹ ドメインユーザを編集する画面が開きますので、必要項目を入力して「OK」をクリックします。ドメインユーザが作成され、選択したドメイン管理の画面に戻ります。

・「*」の付いている項目は必須項目ですので、空欄にしないでください。

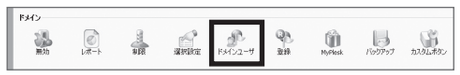
ログイン	このドメインユーザで管理画面にログインする際のログインアカウントになります。
パスワード	このドメインユーザで管理画面にログインする際のパスワードになります。

クライアントの場合

❶ 該当のクライアントでログインし、一般の「ホーム」をクリックします。

❷ ドメインユーザを作成したいドメイン名をクリックします。

❸ 選択したドメインの管理画面が開きますので、ドメインの「ドメインユーザ」をクリックします。



❹ ドメインユーザを編集する画面が開きますので、必要項目を入入力して「OK」をクリックします。ドメインユーザが作成され、選択したドメイン管理の画面に戻ります。パーミッションの設定により、一部の項目が設定できない場合があります。全ての項目を設定したい場合は、サーバ管理者にお問い合わせください。

・「*」の付いている項目は必須項目ですので、空欄にしないでください。

ログイン	このドメインユーザで管理画面にログインする際のログインアカウントになります。
パスワード	このドメインユーザで管理画面にログインする際のパスワードになります。

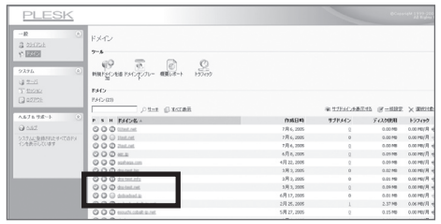
1) ドメインユーザの編集方法

ドメインユーザの編集は、管理者または該当のクライアントユーザまたは該当のドメインユーザが行えます。ただしクライアント及びドメインユーザに関してはパーミッションの設定により、一部の項目が設定できない場合があります。全ての項目を設定したい場合は、サーバ管理者にお問い合わせください。

管理者の場合

❶ admin(管理者アカウント) でログインし、一般の「ドメイン」をクリックします。

❷ ドメイン管理画面が開きますので、ドメインユーザを作成したいドメイン名をクリックします。



❸ お選び頂いたドメインの管理画面が開きますので、ドメインの「ドメインユーザ」をクリックします。

❹ ドメインユーザを編集する画面が開きますので、変更したい項目を編集し、「OK」をクリックします。内容が変更され、ドメイン管理画面に戻ります。

・「*」の付いている項目は必須項目ですので、空欄にしないでください。
・セキュリティ向上の為、定期的にパスワードを変更されることをお奨めいたします。

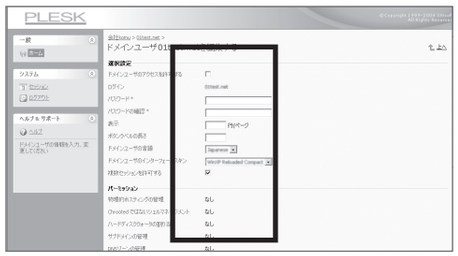
クライアントの場合

❶ 該当のクライアントでログインし、一般の「ホーム」をクリックします。

❷ ドメインユーザを作成したいドメイン名をクリックします。

❸ ドメインユーザを編集する画面が開きますので、変更したい項目を編集し、「OK」をクリックします。内容が変更され、ドメイン管理画面に戻ります。

パーミッションの設定により、一部の項目が編集できない場合があります。全ての項目を編集したい場合は、サーバ管理者にお問い合わせください。



・「*」の付いている項目は必須項目ですので、空欄にしないでください。
・セキュリティ向上の為、定期的にパスワードを変更されることをお奨めいたします。

ドメインユーザの場合

❶ 該当のドメインユーザでログインし、一般の「ホーム」をクリックします。

❷ ドメインの「ドメインユーザ」をクリックします。

❸ ドメインユーザを編集する画面が開きますので、変更したい項目を編集し、「OK」をクリックします。内容が変更され、ホームに戻ります。

パーミッションの設定により、一部の項目が編集できない場合があります。全ての項目を編集したい場合は、サーバ管理者にお問い合わせください。

・「*」の付いている項目は必須項目ですので、空欄にしないでください。
・セキュリティ向上の為、定期的にパスワードを変更されることをお奨めいたします。

Step5 FTP アカウントの編集方法

FTP アカウントの編集は、管理者または該当のクライアントユーザまたは該当のドメインユーザが行えます。ただしクライアント及びドメインユーザに関してはパーミッションの設定により、一部の項目が設定できない場合があります。全ての項目を設定したい場合は、サーバ管理者にお問い合わせください。

FTP アカウントの編集方法

パスワードや SSL 対応状況などの設定された FTP アカウントを編集します。

管理者の場合

❶ admin(管理者アカウント) でログインし、一般の「ドメイン」をクリックします。

❷ ドメイン管理画面が開きますので、FTP アカウントを編集したいドメイン名をクリックします。

❸ 選択したドメインの管理画面が開きますので、ホスティングの「設定」をクリックします。

❹ 選択したドメインの物理的ホスティング設定ページが開きますので、FTP ログインまたはパスワードを変更し「OK」をクリックします。内容が変更され、該当のドメインの管理画面に戻ります。

・パスワードは必ず設定してください。
・「*」の付いている項目は必須項目ですので、空欄にしないでください。
・セキュリティ向上の為、定期的にパスワードを変更されることをお奨めいたします。

クライアントの場合

❶ 該当のクライアントでログインし、一般の「ホーム」をクリックします。

❷ FTP アカウントを編集したいドメイン名をクリックします。

❸ 選択したドメインの管理画面が開きますので、ホスティングの「設定」をクリックします。

❹ 選択したドメインの物理的ホスティング設定ページが開きますので、FTP ログインまたはパスワードを変更し「OK」をクリックします。内容が変更され、該当のドメインの管理画面に戻ります。
パーミッションの設定により、FTP ログインの項目が編集できない場合があります。当項目を編集したい場合は、サーバ管理者にお問い合わせください。

・パスワードは必ず設定してください。
・「*」の付いている項目は必須項目ですので、空欄にしないでください。
・セキュリティ向上の為、定期的にパスワードを変更されることをお奨めいたします。

ドメインユーザの場合

❶ 該当のドメインユーザーでログインし、一般の「ホーム」をクリックします。

❷ ホスティングの「設定」をクリックします。

❸ ドメインの物理的ホスティング設定ページが開きますので、FTP ログインまたはパスワードを変更し「OK」をクリックします。内容が変更され、ホームの画面に戻ります。

パーミッションの設定により、FTP ログインの項目が編集できない場合があります。当項目を編集したい場合は、サーバ管理者にお問い合わせください。

・「*」の付いている項目は必須項目ですので、空欄にしないでください。
・セキュリティ向上の為、定期的にパスワードを変更されることをお奨めいたします。

Step6　バックアップの利用方法

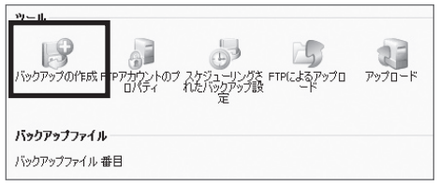
データのバックアップとバックアップファイルのダウンロード・復元等についての手順をご説明いたします。

１）バックアップをするには

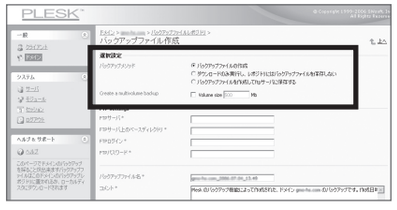
まず、バックアップを行うための手順についてご説明いたします。

❶ ドメインの管理画面を表示し、「バックアップ」をクリックします。

❷「バックアップの作成」をクリックします。

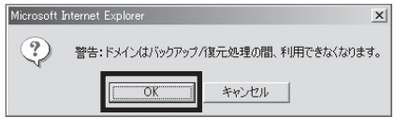


❸「バックアップメソッド」の「バックアップファイルの作成」をクリックして選択します。



❹「バックアップ」をクリックします。

❺ バックアップの実行中は該当のドメインが利用できなくなります。問題が無ければ「OK」をクリックします。



※バックアップに必要な時間は容量により異なります。

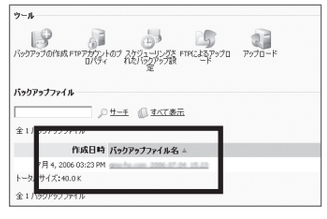
❻ バックアップが実行されます。「OK」をクリックします。

❼ バックアップが完了すれば自動的にドメインは使用できるようになります。

❽ バックアップを行ったドメイン名のリンクをクリックします。

❾「バックアップ」をクリックします。

❿ バックアップファイルが一覧に表示されます。

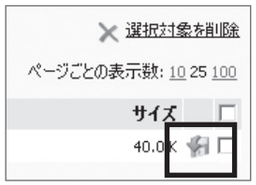


2）バックアップファイルをダウンロードするには

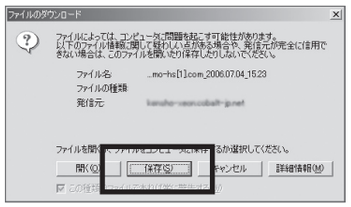
バックアップファイルのダウンロードについてご説明いたします。

❶ドメインの管理画面を表示し、「バックアップ」をクリックします。

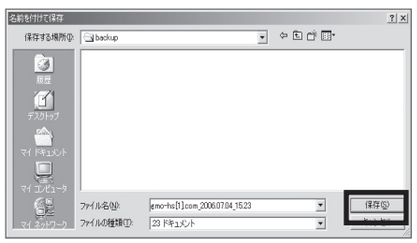
❷ダウンロードしたいバックアップファイルのダウンロードアイコンをクリックします。



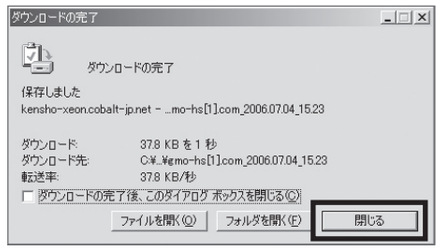
❸「保存」をクリックします。



❹任意のフォルダを指定し、「保存」をクリックします。



❺ダウンロードが完了したら「閉じる」をクリックします。

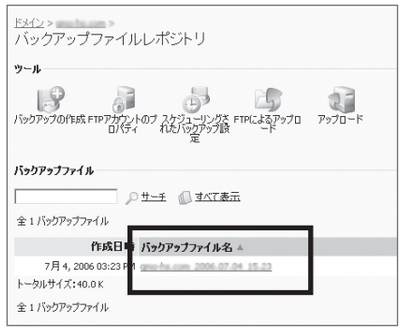


3）バックアップファイルからデータを復元するには

バックアップファイルを復元する方法についてご説明いたします。

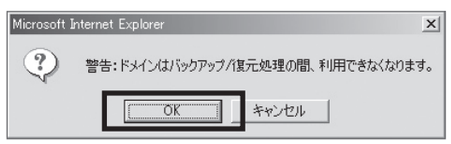
❶ドメインの管理画面を表示し、「バックアップ」をクリックします。

❷復元したいバックアップファイルを一覧から選び、リンクをクリックします。



❸「復元」をクリックします。

❹バックアップの復元中は該当のドメインが利用できなくなります。問題が無ければ「OK」をクリックします。



※バックアップの復元に必要な時間は容量により異なります。

❺バックアップファイルからの復元が実行されます。「OK」をクリックします。

❻復元が完了すれば自動的にドメインは使用できるようになります。

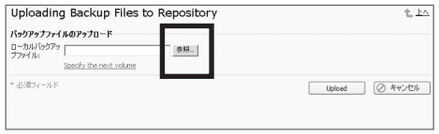
4）ダウンロードしたバックアップファイルから復元するには

ダウンロードしたバックアップファイルを復元する方法についてご説明いたします。

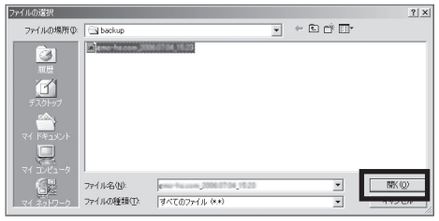
❶ドメインの管理画面を表示し、「バックアップ」をクリックします。

❷「アップロード」をクリックします。

❸「参照」をクリックします。



❹復元したいバックアップファイルを指定し、「開く」をクリックします。



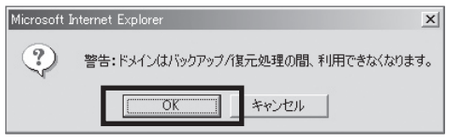
❺復元したいバックアップファイルを指定し、「Upload」をクリックします。

❻アップロードが完了すると、一覧にバックアップファイルが追加されます。

❼アップロードしたバックアップファイルのリンクをクリックします。

❽「復元」をクリックします。

❾バックアップの復元中は該当のドメインが利用できなくなります。問題が無ければ「OK」をクリックします。



※バックアップの復元に必要な時間は容量により異なります。

❿バックアップファイルからの復元が実行されます。「OK」をクリックします。

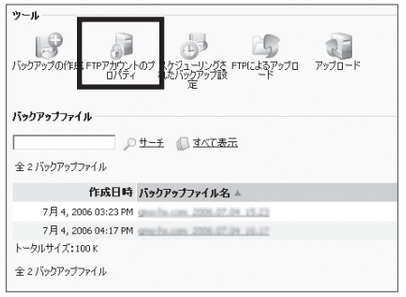
⓫復元が完了すれば自動的にドメインは使用できるようになります。

5）バックアップファイルを他のサーバに保存するには

バックアップファイルを他のサーバーに保存する　方法についてご説明いたします。

❶ドメインの管理画面を表示し、「バックアップ」をクリックします。

❷「FTP アカウントのプロパティ」をクリックします。

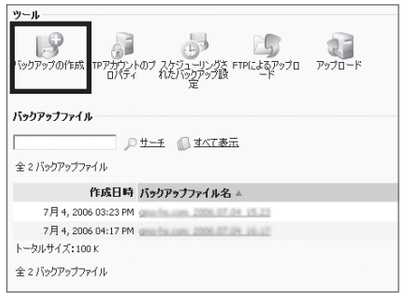


❸バックアップファイルを保存する FTP サーバの情報を入力します。

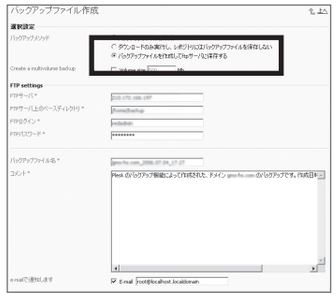
FTP サーバ	FTP サーバのホスト名または IP アドレスを入力します。
FTP サーバ上のベースディレクトリ	バックアップを保存するディレクトリ名を入力します。
FTP ログイン	FTP のログインユーザ名を入力します。
FTP パスワード	FTP のログインユーザのパスワードを入力します。

❹「OK」をクリックします。

❺「バックアップの作成」をクリックします。

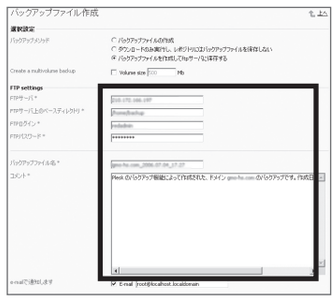


❻「バックアップメソッド」の「バックアップファイルを作成して ftp サーバに保存する」をクリックして選択します。

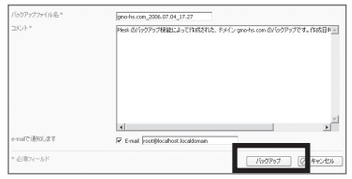


※「バックアップファイル名」を修正することにより、任意のファイル名にてバックアップファイルを作成することができます。

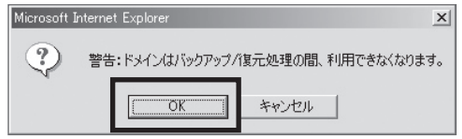
❼FTP サーバの情報を確認します。



❽「バックアップ」をクリックします。



❾ バックアップの実行中は該当のドメインが利用できなくなります。問題が無ければ「OK」をクリックします。



※バックアップの復元に必要な時間は容量により異なります。

❿ バックアップが実行されます。「OK」をクリックします。

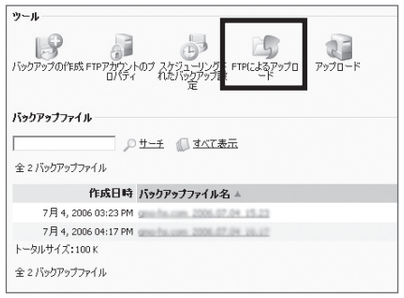
⓫ バックアップが完了すれば自動的にドメインは使用できるようになります。

6）他のサーバに保存したバックアップファイルから復元するには

他のサーバに保存したバックアップファイルを復元する方法についてご説明いたします。

❶ ドメインの管理画面を表示し、「バックアップ」をクリックします。

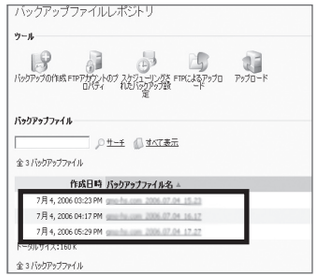
❷「FTP によるアップロード」をクリックします。



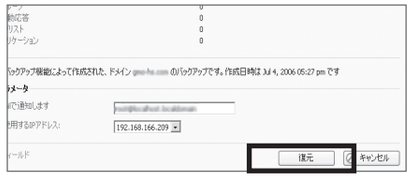
❸ 復元したいバックアップファイルを選択し、「アップロード」をクリックします。

❹ FTP サーバからバックアップファイルがアップロードされ、バックアップファイルの一覧に追加されます。

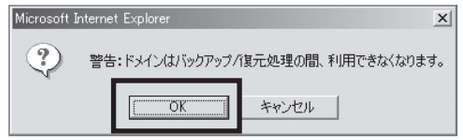
❺ FTP サーバからアップロードされたバックアップファイルのリンクをクリックします。



❻「復元」をクリックします。



❼ バックアップの復元中は該当のドメインが利用できなくなります。問題が無ければ「OK」をクリックします。



※バックアップの復元に必要な時間は容量により異なります。

❽ バックアップファイルからの復元が実行されます。「OK」をクリックします。

❾ 復元が完了すれば自動的にドメインは使用できるようになります。

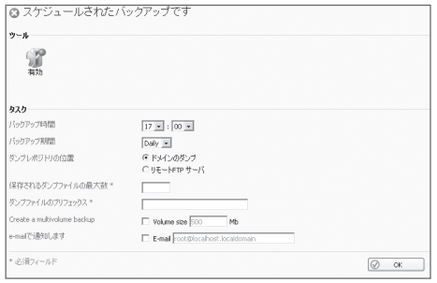
7）定期的にバックアップを行うには

ファイルを、定期的にバックするための方法についてご説明いたします。

❶ドメインの管理画面を表示し、「バックアップ」をクリックします。

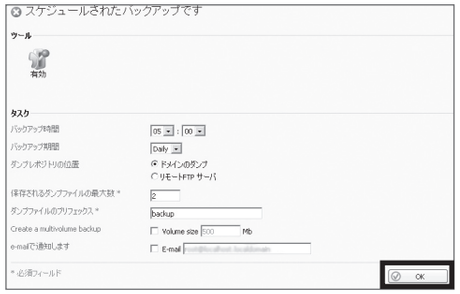
❷「スケジューリングされたバックアップ設定」をクリックします。

❸定期バックアップの設定を行います。

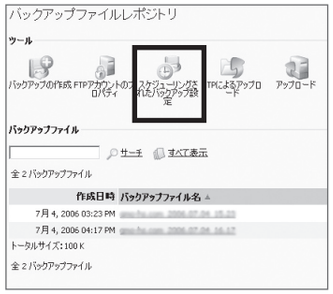


バックアップ時間	バックアップを実行する時間を指定します。
バックアップ期間	「Daily」(１日に１回)、「週次」(週に１回)、「月次」(月に１回) の中から選択します。
ダンプレポジトリの位置	「ドメインのダンプ」(自サーバに保存)、「リモート FTP サーバ」(他の FTP サーバに保存) のどちらかを選択します。
保存されるダンプファイルの最大数	バックアップファイルを保存する最大数を入力します。
ダンプファイルのプリフェックス	バックアップファイルの名前を入力します。ここで指定した名前に日時を付加したファイル名で保存されます。

❹「OK」をクリックします。

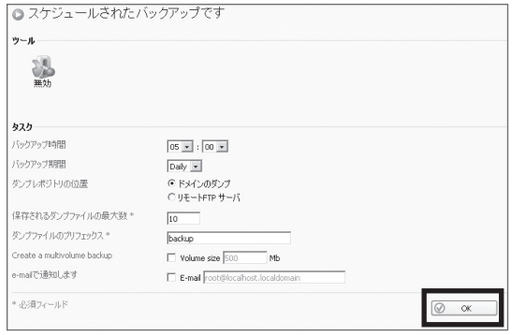


❺もう一度「スケジューリングされたバックアップ設定」をクリックします。



❻「OK」をクリックします。

❼定期バックアップが有効になったことを確認します。



※設定された時間になると自動的にバックアップが開始されます。
※定期バックアップを無効にするには「無効」をクリックしてください。

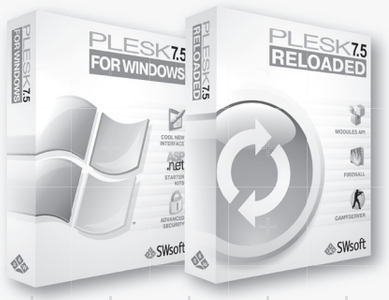
第4章

スタートアップガイド【ドメイン内のユーザ管理】

Start Up Guide [User Management In Domain]

この章では顧客のためにドメインを管理する際などに使用する管理的なタスクについて説明します。
まずは、Web の管理を行う「Web ユーザ」とサブドメイン、メールのみの管理を行う「メールユーザ」を作成・管理していく方法について説明します。

CONTENT



Web ユーザの管理方法

P.31

31：Web ユーザの作成方法
33：Web ユーザの編集方法
35：Web ユーザの削除方法

サブドメインの管理方法

P.37

37：サブドメインの追加手順
39：サブドメインの編集方法
41：サブドメインの削除方法

メールユーザの管理方法

P.43

43：メールユーザの作成方法
45：メールユーザの編集方法
48：メールユーザの削除方法

Step7 Web ユーザの管理方法

Web ユーザとは Web サーバ内のユーザアカウントです。Web ユーザは個別の FTP アクセスをもった Web ページを設定するために使用されます。Web ユーザを作成すると、ドメインにサブディレクトリができます (例 : domain.com/~webuser)。

1) Web ユーザの作成方法

Web ユーザの作成は、管理者または該当のクライアントユーザまたは該当のドメインユーザが行えます。

管理者の場合

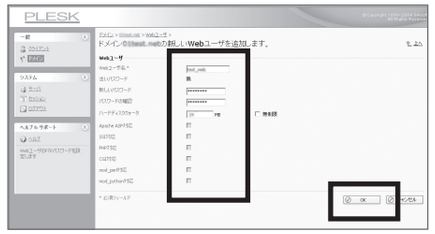
❶ admin(管理者アカウント) でログインし、一般の「ドメイン」をクリックします。

❷ ドメイン管理画面が開きますので、Web ユーザを作成したいドメイン名をクリックします。

❸ 選択したドメインの管理画面が開きますので、ホスティングの「Web ユーザ」をクリックします。

❹ 選択したドメインの Web ユーザの画面が開きますので、ツールの「新しい Web ユーザを追加」をクリックします。

❹ 新しい Web ユーザを追加する画面が開きますので、必要項目を入力して「OK」をクリックします。Web ユーザが作成され、選択したドメインの Web ユーザの画面に戻ります。



・パスワードは必ず設定してください。
・「*」の付いている項目は必須項目ですので、空欄にしないでください。

ログイン	この Web ユーザで Web ページにログインする際のログインアカウントになります。
パスワード	この Web ユーザで Web ページにログインする際のパスワードになります。

クライアントの場合

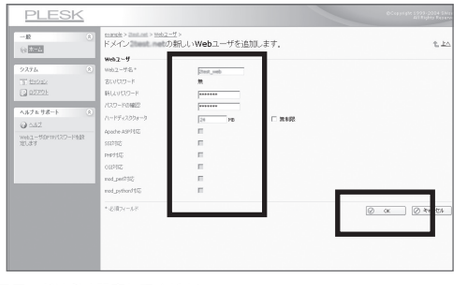
❶ 該当のドメインのクライアントでログインし、一般の「ホーム」をクリックします。

❷ Web ユーザを作成したいドメイン名をクリックします。

❸ 選択したドメインの管理画面が開きますので、ホスティングの「Web ユーザ」をクリックします。

❹ 選択したドメインの Web ユーザの画面が開きますので、ツールの「新しい Web ユーザを追加」をクリックします。

❺ 新しい Web ユーザを追加する画面が開きますので、必要項目を入力して「OK」をクリックします。Web ユーザが作成され、選択したドメインの Web ユーザの画面に戻ります。



・パスワードは必ず設定してください。
・「*」の付いている項目は必須項目ですので、空欄にしないでください。

ドメインユーザの場合

❶ 該当のドメインユーザでログインし、一般の「ホーム」をクリックします。

❷ ホスティングの「Web ユーザ」をクリックします。

❸ Web ユーザの画面が開きますので、ツールの「新しい Web ユーザを追加」をクリックします。

❹ 新しい Web ユーザを追加する画面が開きますので、必要項目を入力して「OK」をクリックします。Web ユーザが作成され、Web ユーザの画面に戻ります。

・パスワードは必ず設定してください。
・「*」の付いている項目は必須項目ですので、空欄にしないでください。

ログイン	この Web ユーザで Web ページにログインする際のログインアカウントになります。
パスワード	この Web ユーザで Web ページにログインする際のパスワードになります。

2）Web ユーザの編集方法

Web ユーザの編集は、管理者または該当のクライアントユーザまたは該当のドメインユーザが行えます。

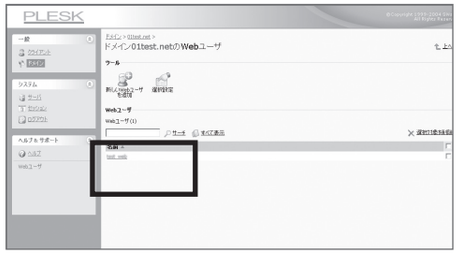
管理者の場合

❶ admin(管理者アカウント) でログインし、一般の「ドメイン」をクリックします。

❷ ドメイン管理画面が開きますので、Web ユーザを編集したいドメイン名をクリックします。

❸ 選択したドメインの管理画面が開きますので、ホスティングの「Web ユーザ」をクリックします。

❹ 選択したドメインの Web ユーザの画面が開きますので、編集したい Web ユーザをクリックします。



❺ 選択した Web ユーザのプロパティの画面が開きますので、変更したい項目を編集し、「OK」をクリックします。内容が変更され、Web ユーザの画面に戻ります。

・「*」の付いている項目は必須項目ですので、空欄にしないでください。
・セキュリティ向上の為、定期的にパスワードを変更されることをお奨めいたします。

クライアントの場合

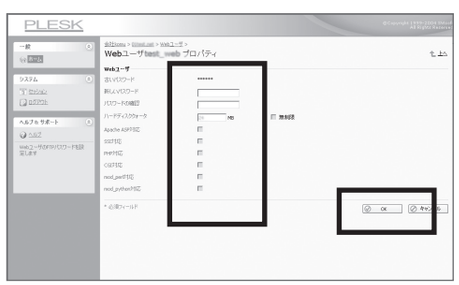
❶ 該当のドメインのクライアントでログインし、一般の「ホーム」をクリックします。

❷ Web ユーザを作成したいドメイン名をクリックします。

❸ 選択したドメインの管理画面が開きますので、ホスティングの「Web ユーザ」をクリックします。

❹ 選択したドメインの Web ユーザの画面が開きますので、ツールの「新しい Web ユーザを追加」をクリックします。

❺ 選択した Web ユーザのプロパティの画面が開きますので、変更したい項目を編集し、「OK」をクリックします。内容が変更され、Web ユーザの画面に戻ります。



・「*」の付いている項目は必須項目ですので、空欄にしないでください。
・セキュリティ向上の為、定期的にパスワードを変更されることをお奨めいたします。

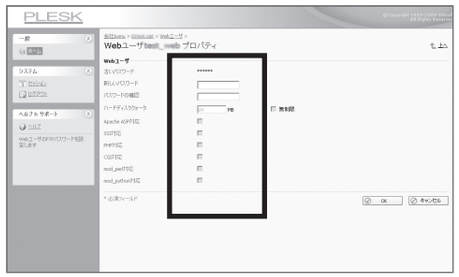
ドメインユーザの場合

❶ 該当のドメインユーザでログインし、一般の「ホーム」をクリックします。

❷ ホスティングの「Web ユーザ」をクリックします。

❸ Web ユーザの画面が開きますので、ツールの「新しい Web ユーザを追加」をクリックします。

❹ 選択した Web ユーザのプロパティの画面が開きますので、変更したい項目を編集し、「OK」をクリックします。内容が変更され、Web ユーザの画面に戻ります。



・「*」の付いている項目は必須項目ですので、空欄にしないでください。
・セキュリティ向上の為、定期的にパスワードを変更されることをお奨めいたします。

３）Web ユーザの削除方法

Web ユーザの削除は、管理者または該当のクライアントユーザまたは該当のドメインユーザが行えます。

管理者の場合

❶ admin(管理者アカウント) でログインし、一般の「ドメイン」をクリックします。

❷ ドメイン管理画面が開きますので、Web ユーザを削除したいドメイン名をクリックします。

❸ 選択したドメインの管理画面が開きますので、ホスティングの「Web ユーザ」をクリックします。

❹ 選択したドメインの Web ユーザの管理画面が開きますので、削除したい Web ユーザのチェックボックスをクリックし、「選択対象を削除」をクリックします。

❺ 削除設定の画面が開きますので、削除の確認をチェックし「OK」をクリックします。選択した Web ユーザが削除され、Web ユーザの管理画面に戻ります。

クライアントの場合

❶ 該当のドメインのクライアントでログインし、一般の「ホーム」をクリックします。

❷ Web ユーザを削除したいドメイン名をクリックします。

❸ 選択したドメインの管理画面が開きますので、ホスティングの「Web ユーザ」をクリックします。

❹ 選択したドメインの Web ユーザの管理画面が開きますので、削除したい Web ユーザのチェックボックスをクリックし、「選択対象を削除」をクリックします。

❺ 削除設定の画面が開きますので、削除の確認をチェックし「OK」をクリックします。選択した Web ユーザが削除され、Web ユーザの管理画面に戻ります。

ドメインユーザの場合

❶ 該当のドメインユーザでログインし、一般の「ホーム」をクリックします。

❷ ホスティングの「Web ユーザ」をクリックします。

❸ Web ユーザの画面が開きますので、ツールの「新しい Web ユーザを追加」をクリックします。

❹ 削除設定の画面が開きますので、削除の確認をチェックし「OK」をクリックします。選択した Web ユーザが削除され、Web ユーザの管理画面に戻ります。

Step8　サブドメインの管理方法

コントロールパネルからサブドメインの作成及び管理が可能です。サブドメイン管理機能にアクセスするには、ドメイン管理ページの（サブドメイン）アイコンをクリックしてください。ドメインに属する既存のサブドメインおよびそれを管理するための FTP アカウントを表示するサブドメイン管理ページが開きます。
※サブドメインではメール及び SSL の機能はご利用できません。ご利用になる場合は STEP3 の手順で登録してください。

1）サブドメインの追加手順

サブドメインの作成は、管理者または該当のクライアントユーザまたは該当のドメインユーザが行えます。
※別途 DNS サーバへの登録が必要となります。

管理者の場合

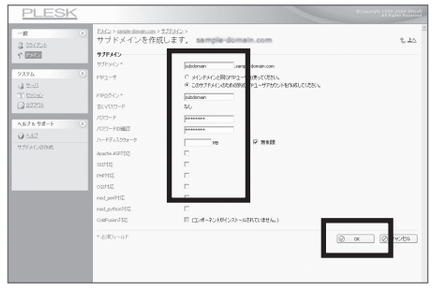
❶ admin(管理者アカウント) でログインし、一般の「ドメイン」をクリックします。

❷ ドメイン管理画面が開きますので、サブドメインを作成したいドメイン名をクリックします。

❸ 選択したドメインの管理画面が開きますので、ホスティングの「サブドメイン」をクリックします。

❹ 選択したドメインのサブドメインの画面が開きますので、ツールの「新しいサブドメインを追加」をクリックします。

❺ 新しい Web ユーザを追加する画面が開きますので、必要項目を入力して「OK」をクリックします。Web ユーザが作成され、選択したドメインの Web ユーザの画面に戻ります。



・パスワードは必ず設定してください。
・「*」の付いている項目は必須項目ですので、空欄にしないでください。

ログイン	この Web ユーザで Web ページにログインする際のログインアカウントになります。
パスワード	この Web ユーザで Web ページにログインする際のパスワードになります。

クライアントの場合

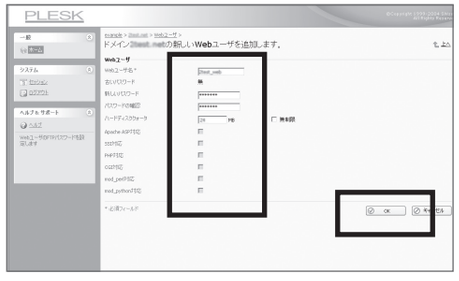
❶ 該当のドメインのクライアントでログインし、一般の「ホーム」をクリックします。

❷ サブドメインを作成したいドメイン名をクリックします。

❸ 選択したドメインの管理画面が開きますので、ホスティングの「サブドメイン」をクリックします。

❹ 選択したドメインのサブドメインの画面が開きますので、ツールの「新しいサブドメインを追加」をクリックします。

❺ 新しいサブドメインを追加する画面が開きますので、必要項目を入力して「OK」をクリックします。Web ユーザが作成され、選択したドメインのサブドメインの画面に戻ります。



・パスワードは必ず設定してください。
・「*」の付いている項目は必須項目ですので、空欄にしないでください。

ドメインユーザの場合

❶ 該当のドメインユーザでログインし、一般の「ホーム」をクリックします。

❷ ホスティングの「サブドメイン」をクリックします。

❸ サブドメイン管理画面が開きますので、ツールの「新しいサブドメインを追加」をクリックします。

❹ 新しいサブドメインを追加する画面が開きますので、必要項目を入力して「OK」をクリックします。サブドメインが作成され、サブドメインの画面に戻ります。

・パスワードは必ず設定してください。
・「*」の付いている項目は必須項目ですので、空欄にしないでください。

ログイン	この Web ユーザで Web ページにログインする際のログインアカウントになります。
パスワード	この Web ユーザで Web ページにログインする際のパスワードになります。

２）サブドメインの編集方法

サブドメインの編集は、管理者または該当のクライアントユーザまたは該当のドメインユーザが行えます。

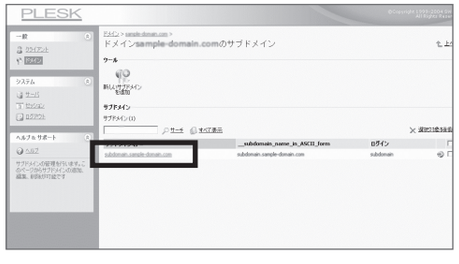
管理者の場合

❶ admin(管理者アカウント) でログインし、一般の「ドメイン」をクリックします。

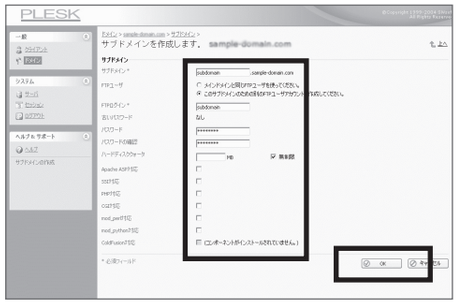
❷ ドメイン管理画面が開きますので、サブドメインを編集したいドメイン名をクリックします。

❸ 選択したドメインの管理画面が開きますので、ホスティングの「サブドメイン」をクリックします。

❹ 選択したドメインのサブドメインの画面が開きますので、編集したいサブドメインをクリックします。



❺ 選択したサブドメインのプロパティの画面が開きますので、変更したい項目を編集し、「OK」をクリックします。内容が変更され、サブドメインの画面に戻ります。



・「*」の付いている項目は必須項目ですので、空欄にしないでください。
・セキュリティ向上の為、定期的にパスワードを変更されることをお奨めいたします。

クライアントの場合

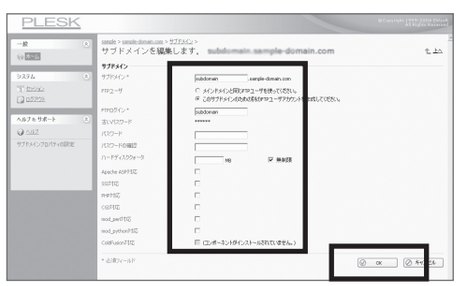
❶ 該当のドメインのクライアントでログインし、一般の「ホーム」をクリックします。

❷ サブドメインを作成したいドメイン名をクリックします。

❸ 選択したドメインの管理画面が開きますので、ホスティングの「サブドメイン」をクリックします。

❹ 選択したドメインのサブドメインの画面が開きますので、ツールの「新しいサブドメインを追加」をクリックします。

❺ 選択したサブドメインのプロパティの画面が開きますので、変更したい項目を編集し、「OK」をクリックします。内容が変更され、サブドメインの画面に戻ります。



・「*」の付いている項目は必須項目ですので、空欄にしないでください。
・セキュリティ向上の為、定期的にパスワードを変更されることをお奨めいたします。

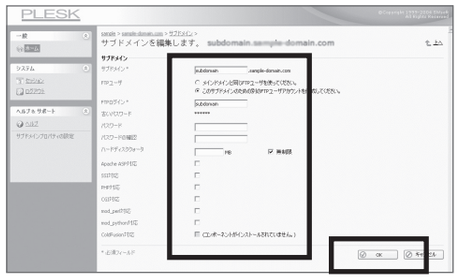
ドメインユーザの場合

❶ 該当のドメインユーザでログインし、一般の「ホーム」をクリックします。

❷ ホスティングの「サブドメイン」をクリックします。

❸ サブドメインの画面が開きますので、ツールの「新しいサブドメインを追加」をクリックします。

❹ 選択したサブドメインのプロパティの画面が開きますので、変更したい項目を編集し、「OK」をクリックします。内容が変更され、サブドメインの画面に戻ります。



・「*」の付いている項目は必須項目ですので、空欄にしないでください。
・セキュリティ向上の為、定期的にパスワードを変更されることをお奨めいたします。

３）サブドメインの削除方法

サブドメインの削除は、管理者または該当のクライアントユーザまたは該当のドメインユーザが行えます。

管理者の場合

❶ admin(管理者アカウント) でログインし、一般の「ドメイン」をクリックします。

❷ ドメイン管理画面が開きますので、サブドメインを削除したいドメイン名をクリックします。

❸ 選択したドメインの管理画面が開きますので、ホスティングの「サブドメイン」をクリックします。

❹ 選択したドメインのサブドメインの管理画面が開きますので、削除したいサブドメインのチェックボックスをクリックし、「選択対象を削除」をクリックします。

❺ 削除設定の画面が開きますので、削除の確認をチェックし「OK」をクリックします。選択したサブドメインが削除され、サブドメインの管理画面に戻ります。

クライアントの場合

❶ 該当のドメインのクライアントでログインし、一般の「ホーム」をクリックします。

❷ サブドメインを削除したいドメイン名をクリックします。

❸ 選択したドメインの管理画面が開きますので、ホスティングの「サブドメイン」をクリックします。

❹ 選択したドメインのサブドメインの管理画面が開きますので、削除したいサブドメインのチェックボックスをクリックし、「選択対象を削除」をクリックします。

❺ 削除設定の画面が開きますので、削除の確認をチェックし「OK」をクリックします。選択したサブドメインが削除され、サブドメインの管理画面に戻ります。

ドメインユーザの場合

❶ 該当のドメインユーザでログインし、一般の「ホーム」をクリックします。

❷ ホスティングの「サブドメイン」をクリックします。

❸ サブドメイン管理画面が開きますので、ツールの「新しいサブドメインを追加」をクリックします。

❹ 削除設定の画面が開きますので、削除の確認をチェックし「OK」をクリックします。選択したサブドメインが削除され、サブドメインの管理画面に戻ります。

Step9　メールユーザの管理方法

Plesk を使用して、ドメイン内に個々の e-mail のメールボックスを作成し管理することができます。またあなたの顧客に自分の e-mail アカウントを自己管理させることもできます。

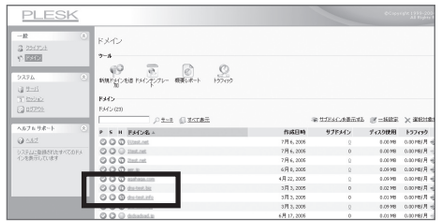
1）メールユーザの作成方法

メールユーザの作成は、管理者または該当のクライアントユーザまたは該当のドメインユーザが行えます。

管理者の場合

❶ admin(管理者アカウント) でログインし、一般の「ドメイン」をクリックします。

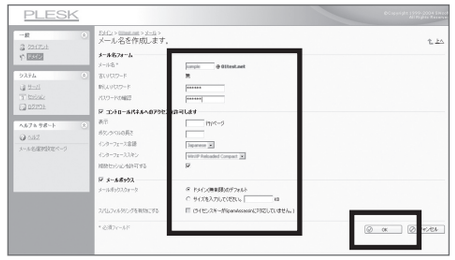
❷ ドメイン管理画面が開きますので、メールユーザを作成したいドメイン名をクリックします。



❸ 選択したドメインの管理画面が開きますので、サービスの「メール」をクリックします。

❹ 選択したドメインのメールユーザの管理画面が開きますので、ツールの「新しいメール名を追加」をクリックします。

❺ メール名を作成する画面が開きますので、必要項目を入力して「OK」をクリックします。メールユーザが作成され、追加されたメールユーザの管理画面が開きます。



クライアントの場合

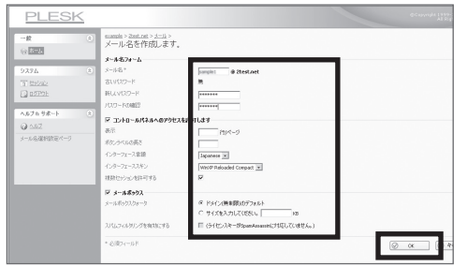
❶ 該当のドメインのクライアントでログインし、一般の「ホーム」をクリックします。

❷ メールユーザを削除したいドメイン名をクリックします。

❸ 選択したドメインの管理画面が開きますので、サービスの「メール」をクリックします。

❹ 選択したドメインのメールユーザの管理画面が開きますので、ツールの「新しいメール名を追加」をクリックします。

❺ メール名を作成する画面が開きますので、必要項目を入力して「OK」をクリックします。メールユーザが作成され、追加されたメールユーザの管理画面が開きます。



・「*」の付いている項目は必須項目ですので、空欄にしないでください。

メール名	このメールユーザで管理画面にログインする際、またはクライアント PC にてメールサーバにアクセスする際のログインアカウントになります。
パスワード	このドメインユーザで管理画面にログインする際、またはクライアント PC にてメールサーバにアクセスする際のパスワードになります。

ドメインユーザの場合

❶ 該当のドメインユーザでログインし、一般の「ホーム」をクリックします。

❷ サービスの「メール」をクリックします。

❸ メールユーザの管理画面が開きますので、ツールの「新しいメール名を追加」をクリックします。

❹ メール名を作成する画面が開きますので、必要項目を入力して「OK」をクリックします。メールユーザが作成され、追加されたメールユーザの管理画面が開きます。

・「*」の付いている項目は必須項目ですので、空欄にしないでください。

メール名	このメールユーザで管理画面にログインする際、またはクライアント PC にてメールサーバにアクセスする際のログインアカウントになります。
パスワード	このドメインユーザで管理画面にログインする際、またはクライアント PC にてメールサーバにアクセスする際のパスワードになります。

1）メールユーザの編集方法

メールユーザの編集は、管理者または該当のクライアントユーザまたは該当のドメインユーザまたは該当のメールユーザが行えます。ただしメールユーザに関してはパーミッションの設定により、一部の項目が設定できない場合があります。全ての項目を設定したい場合は、サーバ管理者にお問い合わせください。

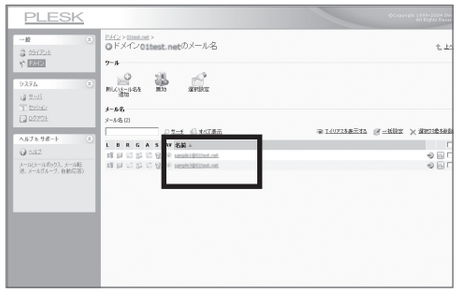
管理者の場合

❶ admin(管理者アカウント) でログインし、一般の「ドメイン」をクリックします。

❷ ドメイン管理画面が開きますので、メールユーザを編集したいドメイン名をクリックします。

❸ 選択したドメインの管理画面が開きますので、サービスの「メール」をクリックします。

❹ 選択したドメインのメールユーザの管理画面が開きますので、編集したいメールユーザ名をクリックします。



❺ 選択したメールユーザの管理画面が開きますので、編集したい項目をクリックし変更して下さい。選択設定をクリックすると、メール名やパスワードなどの設定画面が開きます。

クライアントの場合

❶ 該当のドメインのクライアントでログインし、一般の「ホーム」をクリックします。

❷ メールユーザを編集したいドメイン名をクリックします。

❸ 選択したドメインの管理画面が開きますので、サービスの「メール」をクリックします。

❹ 選択したドメインのメールユーザの管理画面が開きますので、編集したいメールユーザ名をクリックします。

❺ 選択したメールユーザの管理画面が開きますので、編集したい項目をクリックし変更して下さい。選択設定をクリックすると、メール名やパスワードなどの設定画面が開きます。

・「*」の付いている項目は必須項目ですので、空欄にしないでください。
・セキュリティ向上の為、定期的にパスワードを変更されることをお奨めいたします。

ドメインユーザの場合

❶ 該当のドメインユーザでログインし、一般の「ホーム」をクリックします。

❷ サービスの「メール」をクリックします。

❸ メールユーザの管理画面が開きますので、編集したいメールユーザ名をクリックします。

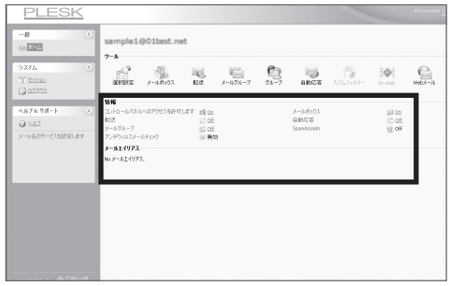
❹ 選択したメールユーザの管理画面が開きますので、編集したい項目をクリックし変更して下さい。選択設定をクリックすると、メール名やパスワードなどの設定画面が開きます。

・「*」の付いている項目は必須項目ですので、空欄にしないでください。
・セキュリティ向上の為、定期的にパスワードを変更されることをお奨めいたします。

メールユーザの場合

❶ 該当のドメインユーザーでログインし、一般の「ホーム」をクリックします。

❷ メールユーザの管理画面が開きますので、編集したい項目をクリックし変更して下さい。選択設定をクリックすると、メール名やパスワードなどの設定画面が開きます。



・「*」の付いている項目は必須項目ですので、空欄にしないでください。
・セキュリティー向上の為、定期的にパスワードを変更されることをお奨めいたします。

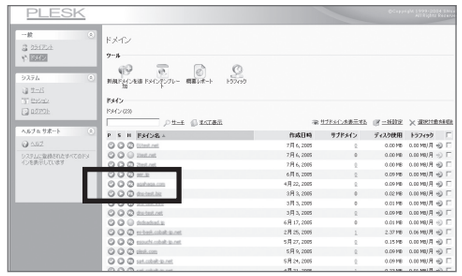
３）メールユーザの削除方法

メールユーザの削除は、管理者または該当のクライアントユーザまたは該当のドメインユーザが行えます。

管理者の場合

❶ admin(管理者アカウント) でログインし、一般の「ドメイン」をクリックします。

❷ ドメイン管理画面が開きますので、メールユーザを削除したいドメイン名をクリックします。



❸ 選択したドメインの管理画面が開きますので、サービスの「メール」をクリックします。

❹ 選択したドメインのメールユーザの管理画面が開きますので、削除したいメールユーザのチェックボックスをクリックし、「選択対象を削除」をクリックします。

❺ 削除設定の画面が開きますので、削除の確認をチェックし「OK」をクリックします。選択したメールユーザが削除され、メールユーザの管理画面に戻ります。

クライアントの場合

❶ 該当のドメインのクライアントでログインし、一般の「ホーム」をクリックします。

❷ メールユーザを削除したいドメイン名をクリックします。

❸ 選択したドメインの管理画面が開きますので、サービスの「メール」をクリックします。

❹ 選択したドメインのメールユーザの管理画面が開きますので、削除したいメールユーザのチェックボックスをクリックし、「選択対象を削除」をクリックします。

❺ 削除設定の画面が開きますので、削除の確認をチェックし「OK」をクリックします。選択したメールユーザが削除され、メールユーザの管理画面に戻ります。

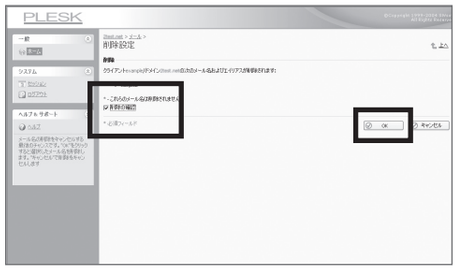
ドメインユーザの場合

❶ 該当のドメインユーザでログインし、一般の「ホーム」をクリックします。

❷ サービスの「メール」をクリックします。

❸ メールユーザの管理画面が開きますので、削除したいメールユーザのチェックボックスをクリックし、「選択対象を削除」をクリックします。

❹ 削除設定の画面が開きますので、削除の確認をチェックし「OK」をクリックします。選択したメールユーザが削除され、メールユーザの管理画面に戻ります。



第５章

サーバ管理

Server Management

この章では Plesk システムを管理するための管理タスクについて主に説明します。ここで述べられている操作は、システムに管理者としてログインした場合にのみ利用可能です。
電源の管理などサーバーの操作に関わる部分が多いので、専門的な知識が必要となってきます。

CONTENT

メールサーバ設定

P.51 51：メールサーバ設定

IP エイリアス管理

P.52 52：IP タイプについて
52：IP アドレス追加について

サービス管理方法

P.53 53：サービス起動・停止・再起動方法
53：電源の管理方法

管理者情報の編集方法

P.54 54：管理者情報の編集方法
54：パスワードの変更方法

SSH の開始・停止・制限を行う手順

P.55 55：SSH を使用できるようにするには

Step10 メールサーバ設定

Plesk 環境のサーバを SMTP サーバとして使用する為に必要な設定になります。
内容をご確認の上、必要に応じて設定願います。

メールサーバ設定

❶ admin(管理者アカウント) でログインし、システムの「サーバ」をクリックします。

❷ サービスの「メール」をクリックします。

❸ メールリレー項目にて、「認証を要求する」を選択します。

POP3	POP before SMTP の設定になります。 メール送信前に、一度メール受信を行う必要があります。
SMTP	SMTPauth の設定になります。 送信前の作業は特に必要ありませんが、メールソフト側でも対応している必要があります。

特に問題がなければ、POP3, SMTP 共に有効な状態に設定します。
設定変更後、下部 OK ボタンをクリックします。

Step11 IP エイリアス管理

サーバに 1 つ以上の IP アドレスもしくはネットワークインターフェースがある場合、システムネットワークインターフェースの IP エイリアスをコントロールするために、IP エイリアス機能を使用できます。

1）IP タイプについて

Plesk にて管理される IP アドレスには IP タイプが存在します。専用 / 共有が選択可能であり、それぞれ以下の違いがあります。

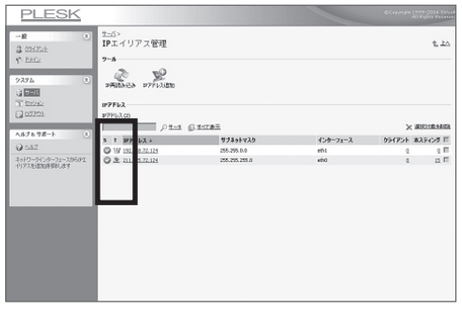
・専用 1 つのクライアントのみ使用可能な IP アドレス。
・共有 複数のクライアントにて使用可能な IP アドレス。

1 つの IP アドレスを複数のクライアントにて使用する為には、IP タイプを専用から共有へ変更する必要があります。以下に変更手順を案内します。

❶ admin(管理者アカウント) でログインし、システムの「サーバ」をクリックします。

❷ サーバ管理の画面が開きますので、管理者情報の「IP エイリアス」をクリックします。

❸ 変更したい IP アドレスの左側にある専用 / 共有アイコンをクリックします。



■アイコンの種類

・・・専用アイコン

・・・共有アイコン

クリックする毎に切り替わりますので、ご希望のものへ変更します。
共有へ変更した場合には、複数のクライアントにて IP プール一覧に表示される事を確認します。

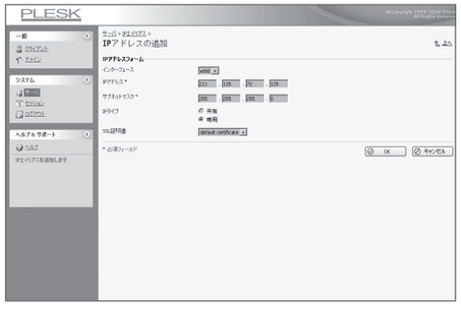
2）IP アドレス追加について

IP アドレスの追加に関してですが、弊社発行のものをご利用いただく必要がございます。
設定完了通知をご確認いただき、追加使用可能な IP アドレスがあるかをご確認願います。

❶ admin(管理者アカウント) でログインし、システムの「サーバ」をクリックします。

❷ サーバ管理の画面が開きますので、管理者情報の「IP エイリアス」をクリックします。

❸ IP アドレス追加をクリックいただき、下記画面を表示します。



インターフェース	eth0 を選択します。
IP アドレス	弊社発行のものを入力します。
サブネットマスク	255.255.255.0 を入力します。
IP タイプ	必要に応じて 共有 / 専用 を選択します。
SSL 証明書	標準のままで問題ございません。

必要事項を入力後、OK をクリックします。
本作業により追加 IP アドレスが登録されますので、クライアントの IP プールにて設定を行います。

Step12 サービス管理方法

Plesk サービスの起動 / 停止 / 再起動や電源の管理を行います。
作業はいずれも admin(管理者アカウント) でログインし行います。詳細は以下の手順をご覧ください。

サービス起動・停止・再起動方法

❶ admin(管理者アカウント) でログインし、システムの「サーバ」をクリックします。

❷ サービスの「サービス管理」をクリックします。

❸ 開始・停止・再起動したいサービスでそれぞれのボタン (下図枠内) アイコンをクリックしてください。

■ボタンアイコンの種類

・・・サービス開始

・・・サービス停止

・・・サービス再起動

WEB サーバ	WEB サイト用サーバ機能です。
SMTP サーバ	送信メール用メールサーバ機能です。
IMAP/POP3 サーバ	受信メール用メールサーバ機能です。
DNS サーバ	DNS サーバ機能です。
Tomcat	TomcatWeb アプリケーションを使用するための機能です。 (add-on の為ご利用頂けません)
PostgreSQL	データベース管理システムです。 (オプションとなります)
SpamAssassin	スパム対策用機能です。 (add-on の為、ご利用頂けません。)
Dr.WEB アンチウィルス	ウィルス対策機能です (add-on の為ご利用頂けません)。

電源の管理方法

＜サーバの再起動の方法＞

❶ admin(管理者アカウント) でログインし、システムの「サーバ」をクリックします。

❷ サーバ管理の画面が開きますので、電源管理の「再起動」をクリックします。

＜サーバのシャットダウンの方法＞

❶ admin(管理者アカウント) でログインし、システムの「サーバ」をクリックします。

❷ サーバ管理の画面が開きますので、電源管理の「シャットダウン」をクリックします。

Step13 管理者情報の編集方法

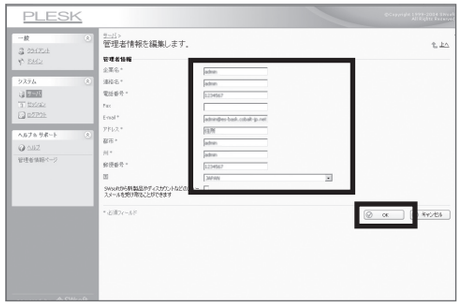
管理者情報の編集作業を行います。
作業はいずれも admin(管理者アカウント) でログインし行います。詳細は以下の手順をご覧ください。

1）管理者情報の編集方法

❶ admin(管理者アカウント) でログインし、システムの「サーバ」をクリックします。

❷ サーバ管理の画面が開きますので、管理者情報の「編集」をクリックします。

❸ 変更したい項目を編集し、「OK」をクリックします。内容が変更され、サーバ管理の画面に戻ります。



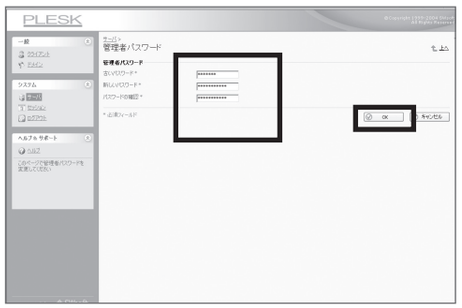
・「*」の付いている項目は必須項目ですので、空欄にしないでください。

2）パスワードの変更方法

❶ admin(管理者アカウント) でログインし、システムの「サーバ」をクリックします。

❷ サーバ管理の画面が開きますので、管理者情報の「パスワード変更」をクリックします。

❸ 古いパスワードボックスに今までのパスワードを、新しいパスワードボックスとパスワードの確認ボックスに新しいパスワードを入力し、「OK」をクリックします。管理者パスワードが変更され、サーバ管理の画面に戻ります。



・「*」の付いている項目は必須項目ですので、空欄にしないでください。

Step14 SSH の開始・停止・制限を行う手順

SSH を使用・不使用・特定のネットワークからのみ SSH を使用できるようにするといった制限を付けるための手順についてご説明いたします。

SSH を使用できるようにするには

SSH を使用するための手順についてご説明いたします。

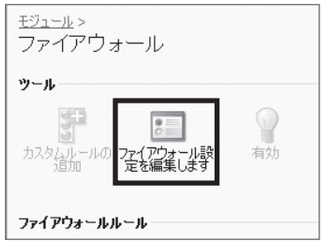
❶ Web ブラウザで下記 URL を開き、管理画面へアクセスします。

https:// お客さまの IP アドレス :8443
　または
https:// お客さまのドメイン名 :8443

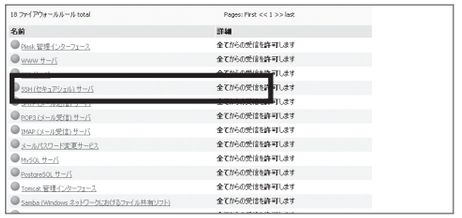
❷ 左側のメニューの [システム] の [モジュール] をクリックします

❸ [モジュール] の [Firewall] アイコンをクリックします。

❹ [ツール] の [Edit Firewall Configuration] アイコンをクリック



❺ [SSH(セキュアシェル) サーバ] をクリックします。



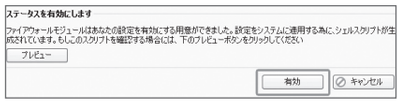
❻ SSH について、[プロパティ] の [アクション内のに [許可][拒絶][選択されたソースを許可します、他のソースは拒絶します] のいずれかをクリックし、[OK] ボタンをクリックします。

Allow	SSH を使用できるようにします。
Deny	SSH を使用できないようにします。
Allow from selected sources, deny from others	特定のネットワークからのみ SSH を使用できるようにします。

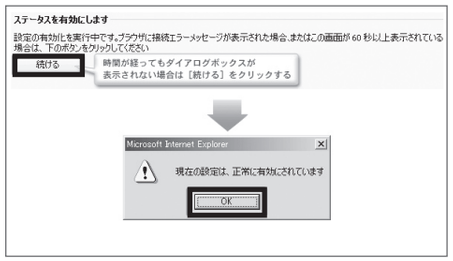
【選択されたソースを許可します、他のソースは拒絶します】を選択した場合、以下に SSH での接続を許可するネットワークまたは IP アドレスを入力し、「追加」をクリックします。

❼ [ツール] の [有効] アイコンをクリックします。

❽ [有効] ボタンをクリックします。



❾ ダイアログボックスが表示されたら [OK] ボタンをクリックします



付録 1 CGI の設定

CGI の実行に関する注意事項について

PLESK 管理画面へ admin ユーザにてログインします。
該当ドメインのホスティング設定をご確認ください。

・mod_perl 対応 = httpdocs 内で .pl 拡張子のファイルが mod_perl 経由で実行されます。
・CGI 対応 = cgi-bin ディレクトリー内の .cgi 拡張子ファイルが、SuExec 経由で実行されます。

httpdocs 以下で CGI を実行したい場合には、.htaccess を設置してください。

```
――――――――――――ここから――――――――――――――――

AddHandler cgi-script .cgi
Options ExecCGI

――――――――――――ここまで――――――――――――――――
```

CGI ファイルの拡張子が .pl の場合は以下の内容を追記してください。
AddHandler cgi-script .pl

PLESK 環境で CGI を実行される場合、SuExec 機能を使用しています。
ファイルの所有者・所有グループ・アクセス権が問題となる場合があります。
下記設定となっているかご確認ください。

所有者	該当ドメインの FTP ログイン名
所有グループ	psacln
アクセス権	700-755(所有者以外書き込み不可となっている必要があります)
ディレクトリー配下で CGI を実行している場合は、ディレクトリーの所有者が該当ドメインの FTP ログイン名、所有グループが psacln になっているかどうかも確認ください。	

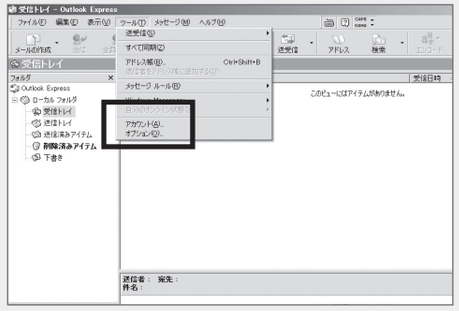
ファイルの改行コード、Perl のパスについても問題ないか確認してください。
Perl のパスに関しては、/usr/bin/perl となります。
また、FTP ソフトを用いて CGI ファイルをアップロードする場合、ファイルの転送モードはアスキーモードでお願いします。

付録 2
メーラーの設定

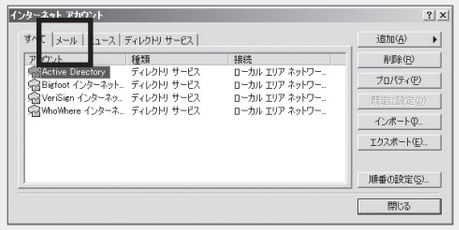
Outlook Express の設定の仕方 (Windows 版)

アカウントの追加方法

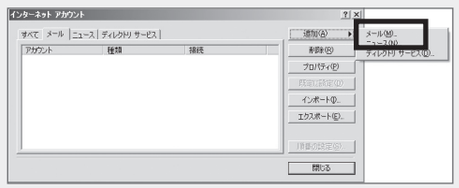
❶ Outlook Express を起動し、メニューバーのアカウントをクリックします。



❷ インターネットアカウントのウィンドウが開きますので、「メール」タブをクリックします。

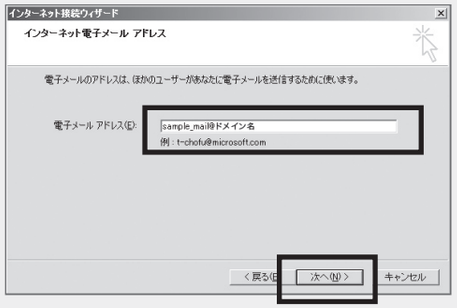


❸「追加」をクリックし「メール」をクリックします。

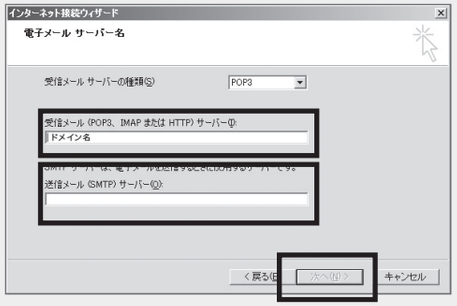


❹ インターネット接続ウィザードの名前ウィンドウが開きますので、表示名ボックスに表示したい名前を入力し、「次へ」をクリックします。

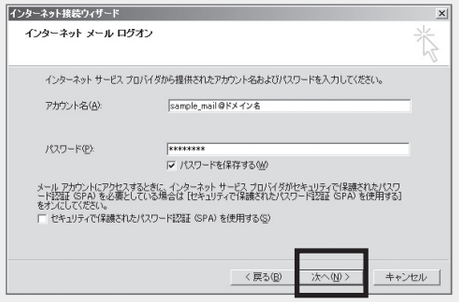
❺ インターネット電子メールアドレスのウィンドウに切り替わるので、電子メールアドレスボックスにご使用になるメールアドレスを入力し、「次へ」をクリックします。



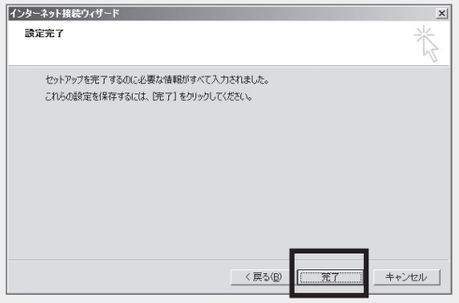
❻ 電子メールサーバー名のウィンドウに切り替わるので、受信メールサーバーボックスに POP3 サーバー名を、送信メールサーバーに SMTP サーバー名を入力し、「次へ」をクリックします。



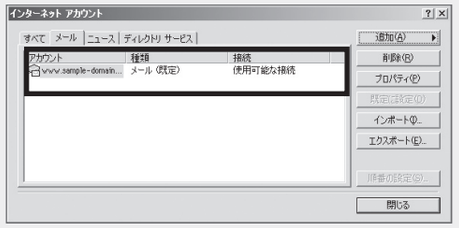
❼ インターネットメールログオンのウィンドウに切り替わりますので、パスワードボックスに設定したパスワードを入力し、パスワードをお使いのパソコンに記録させる場合は「パスワードを保存する」のチェックボックスにチェックし、「次へ」をクリックします。



❽ 設定完了のウィンドウに切り替わりますので、完了をクリックします。



❾ インターネットアカウントのウィンドウのアカウントの一覧に、作成したメールアカウントが表示されます。



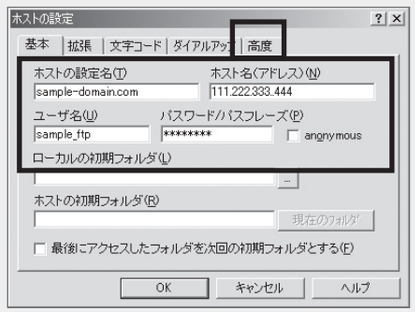
付録３
FTP の設定

FFFTP の設定の仕方

ホストの追加方法

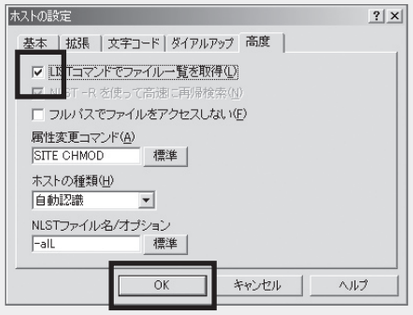
❶ FFFTP を起動し、ホスト一覧ウィンドウの「新規ホスト」をクリックします。

❷ ホストの設定ウィンドウが開きますので、必要項目を入力します。
次に「高度」タブをクリックします。



ホストの設定名	任意のお名前を設定できますが、通常はサイト名やドメイン名を設定します。
ホスト名 (アドレス)	接続先の IP アドレスを設定します。
ユーザ名	作成した FTP アカウントを入力します。
パスワード / パスフレーズ	作成した FTP アカウントのパスワードを設定します。
ローカルの初期フォルダ	設定しなくても問題はありませんが、通常はアップロードするファイルを格納しているフォルダを設定します。
ホストの初期フォルダ	設定しなくても問題はありませんが、通常は web のドキュメントルートを設定します。

❸ ホストの設定の高度ウィンドウが開きますので、「LIST コマンドでファイル一覧を取得」のチェックボックスをチェックし「OK」をクリックします。



❹ 作成したホストに接続する場合は、ホスト一覧ウィンドウの作成したホストをクリックし、「接続」をクリックします。

Windows FFFTP ダウンロード先

フリーソフト
http://www2.biglobe.ne.jp/~sota/

発行日　2006年 7月 21日
マニュアル番号　p_v02-01(500)

本マニュアルの一部または全部を許可無く複製することを禁じます。
本マニュアルの内容は予告無く変更することがあります。
「iSLE」のロゴおよび名称は GMOホスティング ＆ セキュリティ株式会社の商標または登録商標です。
その他の商品名、会社名は各社の商標または登録商標です。
Microsoft、Windows、Outlook Expressは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

ご契約の内容をメモしておきましょう。内容に変更があった場合には、必ず「登録内容の変更」を行ってください。
お問い合せの際には登録内容をお知らせください。

ドメイン名	
root ID	
root パスワード	
お客さまのお名前（担当者名）	
お客さまの住所	
お客さまの電話番号	
登録eメールアドレス	
お支払い方法	□銀行振込　□クレジットカード　□口座振替

※パスワードは本来メモに残さないのが望ましいですが、覚書としてこの欄を利用する場合は、このマニュアルの保管には十分ご注意ください。

PLESK公式スタートアップガイド

2006年8月15日　第２刷発行
著／発行：　　アイルホスティングサービス
（非売品）Not for Sale.

□**PLESKに関する情報は下記URLをご参照ください。**
アイルホスティングサービス　http://private.isle.jp/

本書の一部あるいは全部を無断で複製、複写、転載、デジタルデータ化することを禁じます。
Copyright © iSLE Hosting Service.
Printed in Japan

D280815N500

SWsoft ELITE PARTNER

アイルは国内初の「エリートパートナー」です
アイルはSWsoft社の最高位パートナーの称号を国内で初めて取得しました。

iSLE Hosting Service

PLESK
公式スタートアップガイド

Official Start Up Guide for PLESK

［著］アイルホスティングサービス

世界標準の最新鋭サーバー管理ツール「PLESK（プレスク）」を簡単スタート！

Setting

User making

Edit of setting

Service management